

医療介護コミュニケーション—感染対策

注意すべき感染症の流行状況、具体的な対策等について、おもに在宅支援、高齢者施設に従事されている職員の皆様向けに、情報提供しています。



ワクチン接種に関する・・・い・ろ・は

見た目がどんなに元気な高齢者も、若い方とは異なり、細菌、ウイルス感染症に罹ると、若い方が軽症で済むような感染症でも容易に重症化し生命の危険にさらされます。重症化を予防するワクチンは、高齢者を感染症から守る上で効果的な感染対策（発病予防・重症化予防）の一つです。しかしながら、良いことばかりではありません。重篤な副反応の発症が心配で、ワクチン接種を躊躇されるかたもおられるでしょう。今回の医療介護コミュニケーションでは、「ワクチン接種をしたほうがいいのか、しない方がいいのか」、こんなワクチンの話題を取り上げました。

ワクチンに対する理解が深まる機会になることを期待しています。

ワクチン接種すると感染しないと思っている人いませんか？

- ワクチン接種しても、思っているほど感染予防効果は高くありません。

ワクチン接種すると感染しないと思っている人は、残念ですが間違います。日本で接種できるCOVID-19対応ワクチンの感染予防効果が40%前後の報告があります。ワクチン接種した人の2人に1人は感染していることになります。
ワクチン接種後に感染することは「ふつうにあること」と言ってください。

- ワクチン接種すると、発病予防と重症化予防効果が期待できます。

「何だ、ワクチン接種しても感染するなら意味が無い」と思っていませんか？

感染しても入院しないで済む、生死をさまようような重症感染症にならないなら、免疫機能が低下している高齢者や基礎疾患がある方がワクチン接種する意義は十分あります。COVID-19の重症化を予防してくれる効果は日本人では概ね40～60%、前後、欧米人では概ね60～70%前後と言われています。また、接種から半年経つと、発病予防効果は20%前後に低下すると言われています。（厚生労働省公開データ）



問い合わせ
ご意見窓口
発行
担当
連絡
H P

NPO法人 病院前救護と健康管理研究会 (PC&HM)
医療介護コミュニケーション 広報部 担当者 品川
mail adress : p-contact@pchm-kenkyukai.or.jp
<https://pchm-kenkyukai.or.jp/>

高齢者施設のクラスター対策は、複数の感染者の出た時点からではなく、一人目の感染者が出た時点から始めます。



日々頑張っている感染対策を無駄にしないためには、一人目の職員感染、一人目の入所者、利用者感染が判った時点で、如何に早く感染対策を強化できるかがポイントです。

- 複数感染者が出てから対策強化しても間に合いません。クラスター対策は一人目の感染者が出た時点から始めます。
- 職員の感染が続く限り、入所・利用者の感染者は増え続けます。一人目の職員感染が出た時点で、既に2~3人の職員が感染していることを前提にした、飛沫感染対策が必要です。

👉 感染者の早期発見と可能な範囲の強化対策がポイント

- 一人目の職員感染を確認したときから、普段の対策に加えて、**1週間程度※を目途に、以下の対策を行います。**

- ① 出勤、退勤時2回の検温を行い、微熱でも申告する
- ② 施設職員すべてが、普段のマスク着用時間より長く着用し
普段の手指消毒、手洗い回数を増やし、対策を強化する。
- ③ とくに、事務室、休憩室では、職員間の飛沫対策に努める。

- 一人目の入所者感染を確認したときから、普段の対策に加えて、**1週間程度※を目途に、以下の対策を行います。**

- ① 食事で集まる直前、入浴直前の検温を必ず行う。
- ② 熱、咳のある場合は、可能な範囲で隔離を行う。

- 一人目の感染者が出た時点ですでに複数の感染者がいることを前提に対策を強化します。感染者が増えなければ1週間程度でかまいません。
- 新たな感染者の早期発見と可能な範囲の強化対策に努めます。
- 一旦流行が落ち着き感染者なしの期間がある場合は、その後新たな感染者がでた時点で、一週間程度を目途に強化策を改めて始めます。



皆さんにご紹介したい教材 ♪楽しく学べる動画情報♪

在宅、医療関連施設における感染対策、高齢者施設等における救急対応に関する話題をわかりやすく解説した教材を紹介していくコーナーです。
今回は以下2つの動画資料をご紹介します。ぜひ、ご視聴ください。



Check! 感染対策領域

「感染対策の基本—正しい手洗い」

- ① URL : <https://pchm-kenyukai.or.jp/openvideo/>
- ② パスワードなしで閲覧できます
- ③ 日本語版、英語版があります

動画2

(2021年製作)

(解説) 2021年スタートのストップコロナプロジェクトFUKUOKAで
製作されたAIアバター動画の一つです（協力；シャボン玉石けん株）
プロジェクトでは感染対策に関する動画が多数制作されています。
興味のあるかたは以下のURLからストップコロナプロジェクトに
アクセスしてご覧下さい。

(https://tv.pchm-kenyukai.or.jp/stv/player/pc/index_mix.php)

Check! 高齢者救急領域

「119番通報のかけ方・伝え方」

- ① URL : <http://pchm-kenyukai.or.jp/openvideo/>
- ② パスワードなしで閲覧できます
- ③ 各種動画はメンバーシップ登録して、ご覧下さい。

動画6

(2025年製作)

(解説) 動画では、119番通報するときのポイントについて、わかりやすく
解説しています。R7年8月より全国公開中です。

介護施設から通報する際のポイント、意識、呼吸の確認方法など、
わかりやすく解説しています。フルバージョン（約18分）とショート
バージョンを掲載しています。ぜひご視聴ください。

なお、動画著作権は一般財団法人 救急振興財団、NPO法人病院前救護
と健康管理研究会、有限会社BONDに帰属しています。

- 動画管理：NPO法人病院前救護と健康管理懇話会
- ホームページ <https://pchm-kenyukai.or.jp/>



NPO法人病院前救護と健康管理研究会 (<https://pchm-kenyukai.or.jp/>)

メディカルスタッフのための感染対策塾 (<https://kansenjuku.com/>) では、
高齢者施設等で看護、介護等に従事されている皆さんのために、教育研修資材を
公開しています。ご利用ください。